

## 学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	高橋節子 【ライフサイエンス専攻 平成19年度生】	<p>本論文は、幼児教育施設の建築、設備、家具、道具を幅広い視点から調査分析したものである。特に物理的環境を重要視したモンテッソーリ教育に注目し、その思想を検討するとともに、具体的な教育施設の物理的環境を分析している。</p> <p>はじめに審査委員会では、高橋氏による日本建築学会査読付き論文(筆頭著者)1報を含め、これまでの研究内容や提出論文を確認し、審査委員全員が論文審査にかけることを可と判断した。第1回審査委員会(1月6日)で、表記、研究目的、質問紙調査のデータ分析等についての質疑が出され、申請者は回答書と訂正論文を提出した。第2回委員会(1月16日)に再び質疑がだされ、申請者は回答書と訂正論文を再度提出した。第3回委員会(1月27日)で、これまでの質疑回答と訂正論文を確認し、委員全員が口頭試問を行うことを可と判断した。第4回委員会(2月3日)で、申請者の出席のもと口頭試問がなされた。結論の内容や、用語の使用、本研究のオリジナリティ等について質疑があり、申請者はその場で回答し、後日適切に加筆修正を行い回答書と訂正論文を提出した。以上の審査の過程をふまえ、審査委員全員は、高橋氏が公开发表を行うことを可とした。2月17日の公开发表では、発表および質疑に対する適切な回答がなされた。本論文において高橋氏は、モンテッソーリ教育の理念を体系的に整理し、それらがウィーンの保育園の具体的な物理的環境としてどのように実現されたを明らかにした。さらに質問紙調査によって、日本での状況を詳しく検証した。特に幼児教育法との関連から具体的物理的環境を分析した高橋氏の独自の視点が評価された。以上の点から本論文は、博士(学術)、Ph. D. in Architecture を授与するに相当する論文であると判断した。</p> <p>本論文はオリジナル資料を別冊として添付している。この多数の資料には、著作権が存在し、その公開にあたっては著作料の支払いが伴うことから、申請者の意向に沿い、論文本体は全文公表を可とするが別冊資料はインターネット上での公表を行わないことを審査委員会です承した。</p>
論文題目	子どものための物理的環境 —モンテッソーリ教育における建築・設備・家具・道具	
審査委員	(主査) 教授 大瀧 雅 寛	
	准教授 元 岡 展 久	
	教授 太 田 裕 治	
	教授 仲 西 正	
	教授 小 玉 亮 子	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否 ( <input checked="" type="radio"/> 可 ) ・ 否 ) (ただし別冊資料は公表不可)</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="radio"/> イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	